

# 道徳教育に関する教員の意欲向上のための 手立ての開発

—学校行事と連動させて—

学籍番号 159970

氏名 山本 岳大

主指導教員 富田 福代

## 1. 背景

これまで、道徳教育に関する多くの課題が取り残されてきた。いじめ問題の深刻化や社会の変化を受け、道徳教育を抜本的に改革するために、道徳の時間が小学校では平成30年度、中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳」として教科に位置づけられることになった。今後、社会を生き抜くことができる、調和のとれた人間性を養うために、道徳教育の重要性は増していく。

## 2. 研究の目的

これまでの道徳教育の課題について、学校や教員によって道徳教育の充実度や受け止め方に差があり、十分に行われてこなかった学校や学級があることがあげられる。

研究対象校においても教員に対するアンケートにより、道徳の授業に対して苦手意識をもっている教員や道徳の授業の効果が見えないことから道徳教育に対する意欲が低い教員がいる現状が明らかになった。児童の道徳性を高めるため、教員の道徳教育に関する意欲の向上の手立ての開発を目指す。

## 3. 仮説

鹿毛（1998）は、教師のやる気について、目標を達成したり、そのための教え方などの技術を習得したりすることに対するやる気である「目標達成型意欲」と、子どもとの関わりから、自分の実践を反省したり、子どものより深い理解のために努力したりしていく過程にやりがいを感じるやる気である「過程充実型意欲」の二つがあるとした。その内、「過程充実型意欲」教師のやりがいの本質を語る上で重要であるとしている。このことから、道徳教育において、授業による子どもの変容ややりがいを教員が感じることで、教員の道徳教育に対する意欲が高まると考えた。子どもが関心をもっていることと授業を関連させ、取り扱う道徳的価値を焦点化することで子どもの道徳性をより高めることができると考える。そこで、研究仮説を「児童も教員も関心が高い学校行事と、道徳の授業を意図的に関連させることで児童の道徳性が高まり、その変容を見取することで教員の道徳教育に対する意欲を高めることができる。」と考えた。

## 4. 実践①（学芸会と道徳授業との関連）

実践①では第4学年児童を対象とし、学芸会の練習期間中に学芸会の道徳的価値の重点項目である、集団生活の充実についての授業を学級担任教員に行ってもらった。授業①（4年生 主題名「みんなで一つのことを」 学校行事：学芸会）では、学級担任教員は手応えを感じることができた。学芸会の事前事後でのアンケートの変化が大きかった児童からの聞き取り調査によると、授業の前後で練習態度に変化を感じなかった児童と変化を感じた児童がいた。このことから、学芸会と道徳の授業を関連させたことは、児童を変容させるためにある程度効果があったと考えられる。また、学級担任教員からの聞き取り調査によると、練習の指導がしやすくなったり、児童の練習態度の変容を感じ、またやりたいと思ったりしていたことから、学級担任教員の道徳教育に関する意欲を喚起できたと考えられる。

## 5. 実践②（臨海学舎と道徳授業との関連）

実践②では第5学年を対象として、臨海学舎の練習期間中に関連する道徳的価値の重点項目である集団での役割について、学級担任教員が授業を行った。また、水泳練習中には、道徳の授業を意識した声掛けを行った。実践②（5年生 主題名「チームでの役割」 学校行事：臨海学舎）では、臨海学舎の前に関連する道徳的価値を扱った道徳授業を行うだけでなく、学級担任教員に練習中に積極的に授業の内容を意識した声掛けを行ってもらった。学級担任教員は授業自体には満足していなかったが、資料についてさらに理解を深め、また授業したいと述べていたことから、意欲はある程度喚起されたと考えられる。

## 6. 考察

学校行事と道徳の授業を意図的に関連させることにより、児童は授業で学習した内容を想起する機会を多くもつことができた。その結果、児童の道徳性が高まり、行事の活動における態度が変容したと考えられる。

学級担任教員は、指導案をともに考え作成することで、不安を感じずに授業に取り組むことができ、道徳の授業に対する抵抗を減らすことができたと考えられる。学校行事と道徳の授業を関連させることで、児童の学校行事の活動における態度の変容から指導の手応えを感じ、道徳教育に関する意欲を高めることができたと考えられる。

## 7. おわりに

本研究では、教員の道徳教育に関する意欲を高めることについて、一定の成果が見られた。しかし、今後教員の道徳教育に関する意欲をさらに高めていく必要がある。児童の道徳性をさらに高め、教員の道徳教育に関する意欲を向上させるためには、他の教育活動と道徳の授業の関連のさせ方についても工夫していく必要がある。本研究は、道徳の授業との関連を学校行事で行ったが、道徳教育は学校での全ての教育活動において行われるものであるため、今後さらに他の教育活動と関連させた年間指導計画を作成したり、関連のさせ方を工夫したりしていく必要があると考える。